



5歳児 さくら組 「やきいもをたべよう」

つながり活動「やきいもをたべよう」までの姿

今日はさつまいものつながり活動の3回目。植えて、掘って、いよいよ「食べよう！」と計画しました。できているいもを掘って食べるという季節のイベントにするのではなく、植える所から、食べる所まで、つながった活動をするのが、八雲・由良川流。しかし、今年度はそのいもほりに事件が起きました！

今年度の事件

今年度は夏の水不足でさつまいもが育たず、苗植えをした畑での収穫ができなくなった、と報告を受けました。そうは言われても、子ども達には言葉だけで伝えるわけにはいきません。確かめなければなりません。子ども達は体験でこそ自ら学ぶからです。マラソン大会の試走の後、ドキドキしながら畑を覗きに行ってみると・・・

なんもないやん

夏の水不足でさつまいもが育たなかったんだって



喉乾いたったんかなあ

俺らーも、夏の間、毎日暑くて水遊びいっぱいしたもんな

そこで

地域の方が声をかけて下さり、別の畑で育てたさつまいもを収穫させていただくことになりました。

どうしてこっこの畑はこんなに育ってるのかな？

なんでこんなに沢山葉っぱがあるんやろう？

葉っぱが日陰をつくっていもを暑さから守ったんかな？

さつまいもの数と葉っぱの数は関係あるのかも



ひっぱっても抜けん

前の畑はすぐ抜けたのにな

今年の畑の土は重いわ

土が違う。前は砂やった。こっちはどろや。

抜けないから土をほろう

葉っぱもツルもいもも、いっぱいあるなー



1本のツルに沢山葉っぱがついていたんだね

朝顔のツルより太くて長いね



考察

いつもの畑は砂地ですが、今回の畑は少し様子が違います。その違いを1年生が「今年の畑の土は重い」という言葉で表現しています。比較する体験があってこそその言葉であり、量感の育ちがみられます。又、5歳児は自分たちが苗を植えた畑を観察した時との違いから、葉やツルの様子にも目を見張り「なんでこんなに沢山葉っぱがあるんやろう」という疑問を口にしました。それを全体に発信し共有すると、「葉っぱが日陰を作って芋を暑さから守ったんかなあ」「さつまいもの数と葉っぱの数は関係あるのかも」などの意見が出ました。保育士もその疑問に興味を持ち、タブレットで調べてみると、「・・・」との検索結果が得られました。一人の疑問で5歳児も1年生も大人も知的な学びを深めた瞬間です。

いもほり後の姿

畑でいもを分けて持ち帰り、1年生の提案で今年度は地域の人に助けられて収穫が実現したので、地域の人を招待して「やきいも」を振舞おうということになりました。

つながり「やきいもをたべよう」当日の姿

当日の活動はまいまいハウスで行いました。慣れない場所ですが皆で準備をして、授業がスタート。大人が全て整えるのではなくて、子ども達も一緒に準備をする事で、物事のつながりに気付き、体験から学ぶことが増えていきます。



先についたし
洗い始めよう



破れると焦げるよ

水にぬらすと破れやすい
から気を付けて



焼き上がりまでの時間を利用して

焼き上がりまでの時間を利用して、今回は、神崎探検にでかける計画です。3チームのうちのひとつのチームは、まいまいハウスのどんぐりを探検しにでかけました。

焼き係は校長先生。つながり活動で、校長先生とも交流することは、就学への安心感につながります。

クヌギを探す。クヌギは
でっかいどんぐり

この前ここで見つけたなー

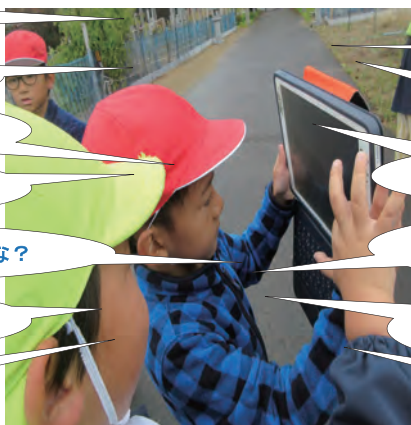
クヌギは帽子がもじゃもじゃ

帽子はがくっていうんだよ

小さいどんぐりはなんて名前かな？

コナラかな？スタジイかな？

帽子を見たらわかるな



葉っぱも違うのかな？

葉っぱも調べてみよか

木を探したら葉っぱが
見れるよ

クヌギの木発見
タブレットで写真を撮ろう

写真を撮るときはここを
押すんやで。やってみて

小さいどんぐりの木
も探そう

今回のつながり活動のねらいには「地域に親しみを持つ」ことも含まれています。神崎探検では、それぞれの興味に基づいて地域を探索し、自分たちで地域の良さを見つけてほしいと願い活動を支えます。

八雲保育園では毎年まいまいハウスを訪れ秋探しをしています。その為、子ども達はどんぐりのありかをよく知っています。今回は改めてどんぐりを探索し、どんぐりの大きさを比べ、ガクト（ぼうし）や葉っぱの違いを確かめようと、どんぐりの木を探すことを思いつきました。それをタブレットに記録しさらに詳しく調べようとしています。

振り返り後に地域の皆さんと交流しました

振り返りでは、3チームそれぞれに見つけた神崎の秋を紹介しました。その後、地域の人にもやきいもを振舞って、一緒に美味しくいただきました。今回のつながり活動は、**地域の自然や人に触れ合う機会**にもなりました。私たちはすばらしい地域の中で生かされている事を実感した瞬間です。

つながり活動「やきいもをたべよう」後の姿

やきいもの手順や味を繰り返し体験し、簡単でおいしいやきいもを今度は小さい子に振舞おうと、園でもやきいもを行いました。



神崎の宝物を使って

神崎探検で見つけたどんぐりや松ぼっくり、木の実や貝殻を「神崎の宝物」と名付け、製作活動に利用しました。どんぐりをリース飾りにするために、クヌギを「トトロ」にしたリ、コナラを「かおなし」にしたリ、製作でもどんぐりの特徴をいかしていました。



考察

連携のねらいは「互恵性」と「知的で深い学び」。今回の活動では、5歳児はタブレットを使った授業を体験し、1年生は5歳児がいつも保育園でしている焼き芋と一緒に、「互恵性」を得ています。また、畑やさつまいもを直接見て、触れて、神崎探検ではどんぐりの色々に触れ「自然との関わり、生命尊重」の学びを深めています。加えて、地域の人や物と関わり、「社会生活との関わり」の育ちにもつながっています。自分たちで課題を見つけてどんぐりを探求する姿はまさに「自立心」の表れです。

幼児期の終わり
までに育ってほ
しい10の姿

健康な
心と体

自立
心

協
同
性

道徳性・規範
意識の芽生え

思考力の
芽生え

社会生活
との
関わり

自然との
関わり
生命尊重

数量や図形、
標識や文字
などへの
・感覚

言葉に
よる
伝え合い

豊かな
感性
と表現

5歳児 さくら組 「 架け橋活動を通して 」

保育所や幼稚園において、子どもたちが日頃から草花を使って色水遊びに親しんでいたこと、また小学校でも自然物探しに取り組んでいた背景を受け、三者の共通した興味・関心のある自然物を使って色水遊びを計画しました。



あっちにお花
取りに行こ



少人数のグループに分かれて活動する中で、自分たちで持ってきた葉っぱをいつものようにすり鉢ですりつぶしていくと「もっとこの花入れよ」「きれいな色やろ～見て！」と、1年生や幼稚園の友達に思いを伝え合う姿が見られました。また「その色どうして作ったん？」と、友達の作っている色に興味をもち積極的にたずねて「自分も作ってみたい」という好奇心をもって遊ぶようになりました。

どれ使う？

これがいい



子どもたちに「色水遊びに何を持って行く？」と尋ねると普段使っているすり鉢やすりこぎ、透明カップなどの道具や「葉っぱも持って行く」と、それぞれに必要なと思う物を準備する姿がありました。様々に試してほしくて、それに加えジップロックやナイロン袋、ペットボトル、お花も準備しました。更に、小学校の周りを自由に探検し、遊びに使う自然物を自分で見つけられるよう環境を整えました。

水入れて～



このアジサイ
全部やる？



うん、やろ

この袋に入れて
もんでみ



こう？

この実、
色出るやろ

色出てきた

そして2回目

あれ？こんな
色になった



私はすりこぎで
実つぶして赤く
なったで

袋に黄色の花を
入れてもみもみしたら
こんな色に
なりました



ペットボトルに
お花を入れて
思いっきり
振ってみました

ペットボトルでも
できるんや

ぼく袋にヨモギ
入れて黄色に
なった



混ぜてみよ！



薄くなった！

比べてみて

グループの友達と作り方を共有したり、混ぜてみることで新たな発見をするグループもありました。

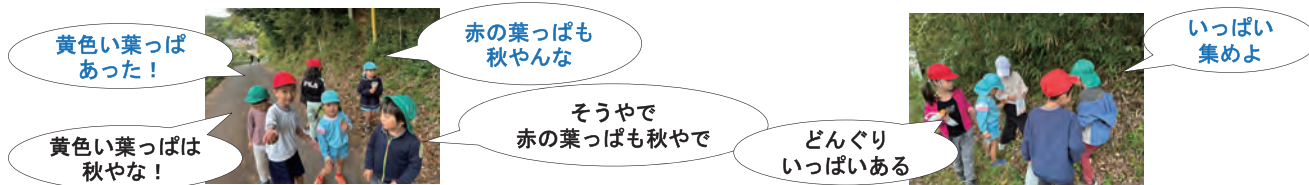
紹介したい物を1つ決めてグループで発表しました。

「袋で揉んだ」「コップに入れてすりこぎで押しつぶした」「すり鉢を使った」「ペットボトルに入れて振ってみた」等、色水の変化だけでなく、様々な色水の作り方があつたことを伝え合う姿がありました。

また、5歳児、1年生関係なく自分たちが作った物を自信をもって紹介する姿がありました。それぞれが興味・関心のある好きな遊びだったからこそ、もっと伝えたいという思いにつながったと感じます。

1学期の色水遊びではグループの中で相談しながら様々な発見を共有し、交流を深めていきました。この「みんなで発見する楽しさ」を、2学期は「みんなで作り上げる喜び」へと繋げて行きたいと考えています。子どもたちの興味・関心を「共通の目的をもったものづくり」へと繋げることで、対話を通して一つのものを作り上げる達成感や、他者を認める力を育むことをねらいとしています。

3回目、久しぶりにグループの友達と顔を合わせ、交流できるように小学校周辺で秋探しから始めました。



その3日後・・・

集めた自然物を使ってグループごとに何を作るかを話し合いました。



架け橋活動を進めるにあたり、保育者は活動の都度、振り返りの時間を設け、子どもたちへの声かけや関わり方について共通の認識を深めました。これにより、子どもたちは安心して活動できるあたたかい雰囲気の中で、幼稚園、保育所、小学校の友達とより学びの多い、充実した交流ができました。



1学期の色水遊びでは、自然物を使って色水ができる面白さや不思議さを感じながら「こうしたらどうなるかな？」と様々な試す姿から【思考力の芽生え】の育ちが見られました。架け橋活動を行う中で遊びがより深く、楽しいものとなりました。

2学期の活動では、友達と一緒にアイデアを出し合いながら思いや考えを言葉で共有し、同じ目的をもって試行錯誤したり、工夫する姿から【協同性】【言葉による伝え合い】の育ち、そして、5歳児、1年生が互いに様々な考えに触れる中で新しい考えを生み出したり、色々な素材で試してみたりする姿から【思考力の芽生え】の育ちが見られました。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	思考力の芽生え	社会生活との関わり	自然との関わり 生命尊重	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
----------------------	--------	-----	-----	--------------	---------	-----------	-----------------	----------------------	-----------	----------



池内幼稚園

5歳児 「 秋の架け橋活動 」

池内小学校1、2年生との架け橋活動では、地域の豊かな環境を生かし、身近な自然の中で一緒に遊ぶことで、仲を深めてきました。10月の架け橋活動では、近くの池姫神社に出掛けました。



幼稚園のお散歩で
行く時あるで

池姫神社行ったことある？



あ！ススキがあるで

ねこじゃらしもある

菊の花が咲いとる

神社までの道中は、会話が弾みました。道端に秋の草花を見つけると、名前を教え合ったり、指をさして見つけた喜びを共有したりしていました。【自然との関わり・生命尊重】



最初の交流から同じグループで活動しています。
グループごとに相談して、自分たちで名前を決めました。

神社に到着してからは、施設を大切に使えるよう、みんなで確認しました。そして、グループごとに好きな遊びを行いました。



そうしょ！

あっちの木にタッチするのはどう？



だるまさんが転んだ！

鬼ごっこ、かくれんぼ、だるまさんが転んだなど、幼稚園でもよくする遊びを一緒に楽しみました。神社の境内や木々に隠れたり、のびのびと走り回ったり、地域の施設にも親しみを感じて遊んだりする姿が見られました。

【社会生活との関わり】

次に、神社の境内で秋見つけをしました。見つけたものは、グループごとに袋に入れて集めました。



なにかあるかなあ

どんぐりあったで



ここに入れて

長い木見つけた！



あ！あった！

小学生がのぞき込む視線の先を一緒にのぞき込んでみたり、見つけたものを知らせたりしていました。

しばらく探したあと、皆で集まって、見つけたものを紹介し合いました。形や大きさを自分なりの表現で伝えたり、見つけた場所を教えたりしていました。【言葉による伝え合い】



どんぐり見つけた

チクチクのやつ
があった



茶色くて大きい

どこにあったん？



あっちの木の
下にあったで

そのあと、もう一度探しました。



チクチクのやつ
あそこに
くっついてる



ほんまや！
よく見つけたね

めっちゃ集まったなあ



友達の発見を聞いたことで、同じ場所を探してみたり、新しい気づきがあったりしました。袋にたくさん集まった秋のものを見て、満足感を感じていました。

身近な施設や自然の中で遊ぶことで、秋の雰囲気を感じながら、のびのびと遊ぶことができました。最初は、保育者や友達に思いを伝えていた子どもたちも、活動を通して距離が縮まってきたことで、小学生や学校の先生にも思いを伝える姿が増えてきました。発見した喜びや驚きを、表情や言葉など自分なりの表現で伝え合い、気持ちを共有する姿がたくさん見られました。

幼児期の終わり
までに育ってほ
しい10の姿

健康な
心と体

自立
心

協
同
性

道徳性・規範
意識の芽生え

思考力の
芽生え

社会生活
との
関わり

自然との
関わり
生命尊重

数量や図形、
標識や文字
などへの関
心・感覚

言葉に
よる
伝え合い

豊かな
感性
と表現



5歳児 まつ組・うめ組 「 スライムをつくってみたい！ 」

架け橋活動までの姿

家庭から持って来た廃材で動物や建物、IT機器などを作って遊ぶのが大好きな5歳児。戸外では砂場での遊びを楽しんでいます。ある日、友達と一緒に砂場で穴を掘っていたところ、水を流し入れると砂が柔らかくなり砂の状態が変化する事に気付きました。

きっかけ

水、入れるで～



いいよ～
もっと入れて～

なんか砂が
へっこんで
きたで

ほんまやスライム
みたい

ぼくも触っていい？



なんか気持ちいいな
スライムみたい

自立心

砂場遊びで友達と一緒に遊ぶ中で水を入れてみよう！あれ水を入れたら・・・砂の状態の変化に付き、スライムみたいと感じました。その場にいた友達も興味をもち、次の遊びを考えるきっかけとなりました。

触った砂の感触がスライムみたいと思った瞬間の気持ちを事前打ち合わせ会で学校側に伝え、今度の交流会はスライム作りをしたいな、と相談しました。すると学校側も話し合いを持たれ、スライムを1年生も作りたいと共感し、スライム作りをすることになりました。



架け橋活動当日

スライム作り掲示版

洗濯のり液は洗濯のり50mℓ/水50mℓを混ぜる。ホウ砂水は水25mℓにホウ砂2g程度を溶かす。※お湯がホウ砂はよく溶ける。
洗濯のり液にホウ砂水を少しずつ加え割り箸で素早く混ぜる。手につかなくなったら手でもんでスライム作りの完成。

洗濯のり液づくり

こぼれそう

ゆっくり
入れようね

もう少し
ストップ



だいじょうぶ
だよ

ホウ砂水づくり

ホウ砂を自分達で測れるように計量器や2g測れるスプーンを用意しておきました。班ごとに5歳児が計量するのですがホウ砂がこぼれたりして上手く測れませんでした。が、1年生の助言により上手く測ることができました。

2グラム

2グラムって
むずい

ホウ砂は
何グラム？

そう
2グラムだよ



1年生が優しく5歳児にアドバイスしています。1年生に分量を教えてもらって洗濯のりをドキドキしながら入れています。

スライムを作りたい！作ったスライムで遊びたい！という思いで取り組んだスライム作りですが、計量することの難しさを実感しました。スライムの原料は何なのか比率はどうなのか、ということに気付いている段階です。

洗濯のり液にホウ砂水を少し
ずつ入れる・割り箸で混ぜる

洗濯のり液とホウ砂水ができれば混ぜ合わせていきました。ゆっくりと
洗濯のり液の中にホウ砂水を入れていきます。

あれ！？
どうしよう・・・

なんでかたまらん
のやろ～

いいねいいね
いいかんじ！

絵の具
今入れてみよか

ホウ砂水も
ゆっくり
入れていこか

ホウ砂が
少なかったのか
なあ

のりが多かったん
ちゃう？

水が多かったん
ちゃう？



絵の具はいつ
入れよ

色が黄緑色に
なった～

ホウ砂水入れたら
なんか固まってきた



きれいな
色やね

こねてみる？

もっと速く混ぜたら
固まるかな

言葉による
伝え合い

自分なりに考えたことや感じたことを
言葉で伝え合う姿が見られました。

協同性

共通の目的の実現に向けて1年生と一緒に取り組み
ましたが上手くできなく、互いに意見を出し合い、
考えたり工夫したりする姿が見られました。

スライム
できた～

完成！！

スライム
どんな感じする？

さわらせて～



ぷよぷよやな

つめたい！

架け橋活動後の お話しタイム

今日の活動は
どうでしたか？

スライムを知ってても
作ったのは初めてでした。
楽しかったです

幼稚園さんと
作ったのが楽しかった
です



幼稚園さんは
どうでしたか？

1年生と一緒に
作ったのが
楽しかった

また一緒に
やりたいな

1年生が
やさしかった

スライムに色
つけるのが
おもしろかった

架け橋活動後の 園での様子

園へ帰ってからもスライムで型抜きしたり、ビーズなどの色々な素材をスライムに混ぜて感触を楽しんだりして
遊ぶ姿が見られました。少しずつスライム状になっていく変化を実際に経験したことから1年生と話し合い、協
力する大切さを学び、同じ物を共有し試行錯誤しながら作りあげたことは自信と満足感を得ることができ、次へ
のステップとなりました。

遊びや生活の中で必要となる文字や数量。特に今回の活動は数量に気付き体験するという貴重な関わりだったと
思います。1年生と一緒に活動できた内容で、化学変化のおもしろさを経験し、充実した架け橋活動となり
ました。

幼児期の終わり
までに育ってほ
しい10の姿

健康な
心と体

自立
心

協
同
性

道徳性・規範
意識の芽生え

思考力の
芽生え

社会生活
との
関わり

自然との
関わり
生命尊重

数量や図形、
標識や文字
などへの関
心・感覚

言葉に
よる
伝え合い

豊かな
感性
と表現

5歳児 もも・さくら組 「 身近にあるものを使っておもちゃ作り 」

架け橋活動まで

身近にあるものを使って皆で相談して遊びを考えるのが大好きな子どもたち。「何を作る?」「〇〇を作ろう」「いいよ」とスムーズに遊びが決まる時もあれば、「私は〇〇がいい」「僕は〇〇作りたい」と自分の意見を譲れず決まらない時もあります。こうした話し合いから、友だちの想いを聴いたり、自分の想いも伝えたりしながら、自分の気持ちに折り合いをつけて、友だちと一緒に工夫して遊びが進められるようになってほしいと保育者は子どもたちの様子を見守っています。

ここにセロハンテープ貼るんだよ



ありがとう

どうやって作るの?

10月、志楽幼稚園の横の神社に、秋見つけに行きました。赤く色づいた葉っぱやイチョウの葉、どんぐりを見つけた子どもたちは、翌週にある架け橋活動を楽しみにしていました。



いちょうの葉見つけたよ

架け橋活動当日

楽しみにしていた架け橋活動に、集めたどんぐりや廃材を持ち寄り、1年生とタンポポこども園の友だちと一緒に遊ぶものを作りました。5歳児と1年生と声を掛け合いながら、試してみたり、工夫したりしながら作る姿が見られ、1年生は優しく5歳児に教えてくれました。

何点にする?

何て書くの?

100点も作りたいな

点数の箱たくさん作ろう

たくさん道ができるといいな



ここにどんぐりいれるんだよ



作ったおもちゃを楽しみながら、遊ぶ姿がありました。音が鳴るようにしてみたり、たたく場所によって音が違ったり工夫が見られました。

どんな音が鳴るの?

おもしろい音が鳴るね

ここをはじくと音が鳴るんやで

違う音も鳴ったら楽しいね

子どもたちが身近にある素材や廃材、自然物を使って遊びが進められるように環境設定しておくことで、自らそれらのものを遊びに生かそうとする姿が見られ、また皆で遊びを決めていく中で、自分の想いを伝えたり友だちの想いを聴いたりし【言葉による伝え合い】、自分の気持ちに折り合いをつけながら、友だちと一緒に遊びを工夫して進められるようになってきた。【協同性】さらにはおもちゃを工夫する中で、“どうしたらうまく転がるのかな”と考えたり、転がるだけでなく、転がる道を分けて作ったり、最後は受け皿を作って点数をつけてゲームにできるよう発展することを考える姿も見られた。【思考力の芽生え】

幼児期の終わりに
までに育ててほしい10の姿

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

思考力の芽生え

社会生活との関わり

自然との関わり
生命尊重

数量や図形、
標識や文字などへの関心・感覚

言葉による
伝え合い

豊かな感性
と表現

5歳児 ひばり組 「 クリスマスの製作 」

架け橋活動までの姿

絵を描くことや製作することが好きな子ども達ではありますが、自分たちで作るものを決めるという経験がなかったので、架け橋活動のめあてにもあるように、作りたいものを話し合ったり協力して活動を楽しんでほしいと思いました。

まずは活動の準備として秋のものを集めに出かけました。
木の枝、どんぐり、もみじなどを集めに出かけました。

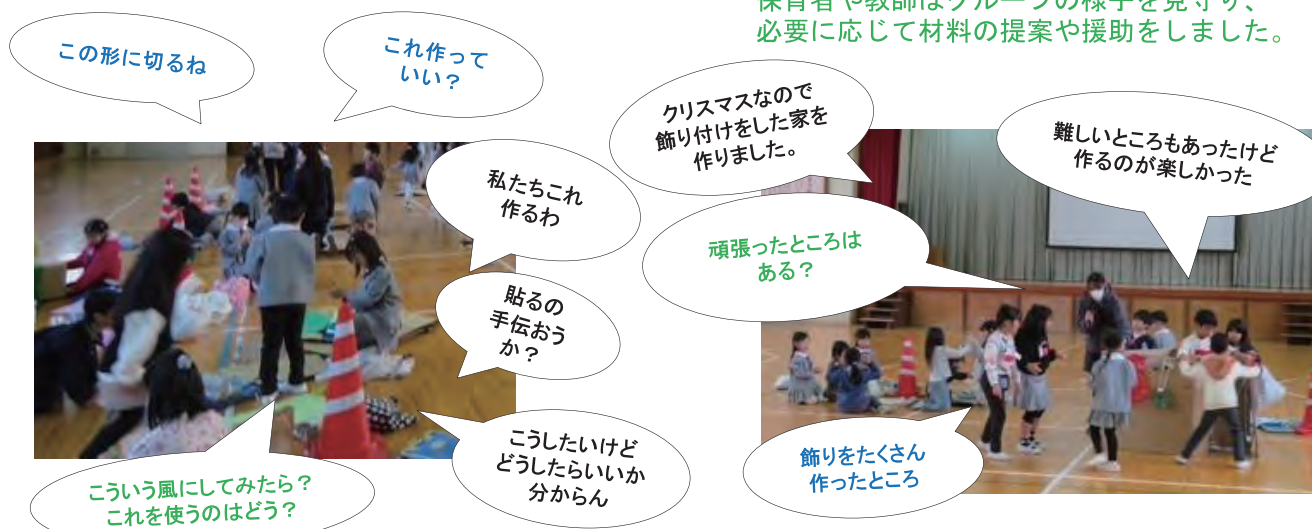


園に戻り、クリスマスが近いということもあり秋のものを使ってどんなものが作れるか話し合いました。まつぼっくりを使ってツリーを作る、どんぐりをクリスマスの飾りに使いたいなどという意見が出ました。

当日の姿

活動が3回目ということもあり、会ってすぐに打ち解けてお話をしたり、和やかな雰囲気で始まりました。1年生と一緒に作るものを決めたり、各自作りたいものを作ったりしていました。

保育者や教師はグループの様子を見守り、必要に応じて材料の提案や援助をしました。



作っていく中で、役割分担をしたり協力したり何を作っているのか会話したりしている姿が見られました。保育者や教師にも作りたいものを作るにはどうしたらよいのか分からないことを言葉で伝える姿も見られました。

クリスマスというテーマで、決まった材料の中で何を作ることができるのかや、1年生・他園と子ども達と話しながら1つのものを作るという難しさがありました。

上手いかないもどかしさや今何をしなければいけないかを考えるという経験、決まった時間のなかで目一杯遊びこむ経験ができました。

その後、遊びや生活の中で、自分で考えたことを上手にかたちにできないこと、分からないことを保育者に聞いたり、子ども同士で話し合いながら1つのものを作りあげたりと言葉で伝え合ったり、考えたりする姿が見られます。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	思考力の芽生え	社会生活との関わり	自然との関わり 生命尊重	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
----------------------	--------	-----	-----	--------------	---------	-----------	-----------------	----------------------	-----------	----------



〈架け橋活動までの姿〉

園外保育で出かけた公園で、大きなどんぐりを見つけ夢中でどんぐり拾いを楽しんだ子ども達。一緒に拾いながら保育者が「今度1年生のお兄さんお姉さん達と（どんぐり拾いに）行くときもいっぱいあるといいねえ・・・」と言うと「（どんぐり）なかったらこれあげる!」「いっぱい集めよ!」と張り切って、沢山どんぐりを拾い、持ち帰りました。

〈どんぐり拾い当日の姿〉（架け橋活動2回目）

まってー！
せんせ、
バイバイ!!

保育者から離れて1年生についていきます。

あっちいこ！

どこ？



あ!!ここにもある!!

保育者は少し距離を取って見守ります。

すごいなー。いっぱいやん



初めは1年生と手を繋ぎ連れて行ってもらったり、後ろをついて行く子ども達でしたがだんだん緊張もほぐれ、自分からどんぐりや木の実を探し、見つけると1年生に声をかけ、自然にやり取りする姿が見られました。

〈拾った秋の実を使ってリース作り当日の姿〉（架け橋活動3回目）

紙のひねり方を一年生に教えてもらいながらリースの輪を作ったり、一緒に毛糸を選びに行きリースに巻いたり1年生に手伝ってもらいながらリース作りが進みました。そのうちに1年生の作るリースを見て「ここにくっつけたい」「（グルーガンのコーナーへ）一緒に行ってあげる」、「それ、どうやったん?」「（半分に）切ってくっつけた」「それ（飾りつけにつかっている素材）、どこにあるん?」「あっちゃで」、と自分の思いを伝え、やりとりし、自ら素材を取りに行き、選び、作る姿が見られました。

自立心

<架け橋活動後の姿>

架け橋活動で集めたどんぐりや木の実などの残りと園外保育で集めたどんぐりを見ていた子ども達。

いろいろあるな…

これ細いわ

しましま帽子や



これちゃう？

ぼうしもいろいろある。なんでとれるんやろ？



分けてみる？

そこで図鑑のどんぐりのページを大きくコピーして置いてみました。すると写真とどんぐりを一つ一つ照らし合わせてはお皿に入れていき仕分けを楽しんでいました。

なんか(振ったら)音するわ

何か入ってる！

われとる！

むいてみよ！

ほんまや！



皮をむいてみます。

黒いのあった！何やる？

(皮をむいて出てきた種子に、白く粉がついているように見える部分を見て)

けむりや！何でけむりでてるんやろな…



自分達が拾ったどんぐりの違いに気付き、興味を持ち、言葉にして伝え合い、自分なりに考えたり、確かめたりする姿が見られます。

言葉による
伝え合い

大きさ・形・色の違いに気付いたり、「何でやる？」と興味を持ちいくつも皮をむいては見比べて確かめるなど、どんぐりの不思議を発見していました。

自然との関わり

その後も残ったどんぐりや小枝を使って自分なりに製作を楽しんだり、慣れ親しんでいるどんぐりの不思議に気付いたり、普段のお散歩と架け橋活動で沢山秋の実りに触れることができました。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	思考力の芽生え	社会生活との関わり	自然との関わり 生命尊重	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
----------------------	--------	-----	-----	--------------	---------	-----------	-----------------	----------------------	-----------	----------

5歳児 ゆり組 「どんな花が咲くのかな」

年間を通して、5歳児と1年生が関わる機会をもち、気づきを交流しながら思考が深められる活動にしたいと考え、風船かずらを育てることにした。また、鉢を学校に置くことによって、世話をするために週一回通うようにし、1年生との関わりがもてるようにした。

種を植えよう

初めて出会う1年生に少し緊張をしていたが、1年生からたくさん話しかけてくれて、5歳児も知っていることやできることを話しながら種を植えた。

いっぱい
入れる？

土はふわふわに
入れるよ

種の模様見て

ハートや
かわいい

日のあたる
ところに置こう

水やりすぎたら
ダメやんな

いらない水が
下から出てくるで

1年生が朝顔の種植えを事前に経験していたこともあり、土の入れ方や、水やりの仕方、鉢の置き場所のアドバイスをしてくれた。5歳児もこれまでの経験から、日の当たるところがいいことや種の特徴に気づいて、話し合っていた。

つるが伸びてきた

世話をしながら、観察をしてきた風船かずらに、1年生がそろそろ支柱をした方がいいと教えてくれて一緒に作業を行った。芽が出て、育っていることに5歳児は大喜びしていた。

今日は
支柱
するで

なんで？

つるが巻きついて
いくんやで

芽が出た！！

観察に行くたびに、芽が出ない5歳児は肩を落としていた。芽が出ない子を思いやり、1年生が相談をして朝顔の芽を分けてくれた。1年生がくれた手紙の中には朝顔の芽だと書いてあったが、5歳児はその芽が朝顔なのか風船かずらなのか気づいていない。保育者は子どもが観察を続ける中でどのような気づきがあるのかをあえて見守ることにした。

あれ!?

夏は園に鉢を置いて、世話をした子どもたち。毎日のように観察する中で、朝顔と風船かずらの2種類あることに気がついた。また、つるの長さにも関心をもち、鉢の置き場所を変える子もいた。

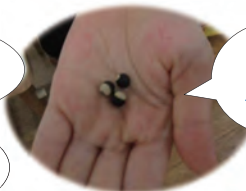


あれ?花が違う

葉っぱの形も違う

なんで!?

お手紙もう一回読んでみようか



種もハート

種っているな形がある

土はギュってしたらあかんで



419 あった

園で冬野菜を植えるときも種に注目する子どもたち



友達の発見や考えにも触れ、興味関心を広げている。つるを伸ばすために鉢の場所を移動し、試す姿もあった。種の数数を数えたり、冬野菜を植える時には土をふわっとかけたり、種の形に注目をしたり、1年生との活動が活かされている。

クリスマスリースを作ろう

1学期から大事に育てた風船かずらや朝顔のつるを使い、秋見つけで収集した自然物を用意して、クリスマスリースを作った。その後、園でもイメージに合う材料を選んで飾り作りを楽しんでいた。



ボンドは多めにつけた方がいいよ

私もやってみたい

ステキだね
どうやって
できたの?

こうしたら
サンタになるで

幼稚園でも
クリスマス飾り作り



何使おうかなあ

木とか段ボールで
形にしよう

ボンドでくっつくかなあ?

どんぐりの
サンタを教えて
もらったで

教えて



これまでの遊びや、架け橋活動での経験を通して、自分たちからいろいろな素材を手に取り、使い方を考え試してみようとする姿が増えてきた。友だちのしていることにも関心をもち、教え合う場面もある。また、物と物とのつなぎ方も素材に合わせて工夫もするようになっていく。

幼児期の終わり
までに育ってほ
しい10の姿

健康な
心と体

自立
心

協
同
性

道徳性・規範
意識の芽生え

思考力
の芽生え

社会生活
との関わり

自然との
関わり
生命尊重

数量や図形、
標識や文字
などへの関
心・感覚

言葉に
よる
伝え合い

豊かな
感性
と表現



5歳児 きりん組 「よく回るコマを作りたいな」

自然にあるものを使って遊ぶ楽しさをこどもたちに味わってほしいと考え、1年生の先生と相談し、コマ作りをすることにしました。コマ作りには、遊びそのものに熱中できる。気づきをもて工夫ができる。遊びに見通しがもてる。など、たくさんの楽しさがあるからです。

秋の架け橋活動1日目

1年生と互いに集めた自然物を持ち寄り、どうすれば回るか？相談したり試したりしながらどんぐりや松ぼっくりなどでコマを作りました。



丸いどんぐりはよく回るよ

もっとよく回るにはどうしたらいいかな？飾りを付けたらどうなるだろう。と考えながら製作し始めました。



完成したコマを置く場所を1か所に決め、どの子もいろいろな種類のコマを見られるようにしました。

藤の実のコマ
作ったけど
全然回らん

バランスが悪い
から回らんのやと
思うで

①バランスの大切さ



そしたら十字架
の形にしたらいい
と思う

十字架型にコマを
変えてみました。

ほんまに回る
ようになった



つまようじに木の実を刺
したら、バランスが良
くなってもっと回るよ
うになったよ

自分なりに理由を考えて試したり、
相手にことばで伝えたりしていました。

②物による回り方の違い

細いどんぐりは
横にしたら回った



大きい
どんぐりが
一番回った

物によって回り方が違うことに気づきました。

☆こどもたちの気づき



5歳児担任
どんなコマが
よく回った？

コマ作りの中で失
敗したことや、回り
方の違いなど、こど
もたちが気がついた
ことを引き出せるよ
うにしました。

1年生担任
難しかった
ところはある？

1年生担任

③重たすぎると回らない

松ぼっくりを付けた
ら重たいから 回ら
んようになる



軽くしたら
回ると思う

どんぐりを付けない
と絵を描いたらいいん
じゃない？

飾りを付ける前は回ったのに、付けた後回らなくなったコマ。
どうすれば回るようになるか？意見を出し合いました。

④軽すぎても回らない



重すぎるコマは回らんかっ
たから小っちゃい
どんぐりで作ったけど、
軽すぎても回らんかった

よく回るようにするためには、微妙な重さ加減が影響する
ことを感じていました。

様々な材料を使っていろいろなコマを作ったことで友だちと競争したい気持ちが生まれ、2回目はコマ回し大会をすることになりました。そして、大会をするには何が必要か、どんなコマ回し大会にしたいか意見を出し合いました。

園に帰ってきてから

コマ回しの台作り

コマ回し大会をするために、自分たちで台を製作することにしました。1年生と一緒に楽しむために何で台を作るか、大きさや形などを相談しました。

5歳児担任

どんな台を作りたい？



壁があった方がコマが落ちんからいいね

大会にはお客さんがいるから顔描いたどんぐりいっぱい並べよ

みんなで回して1番最後まで回った人が優勝な

コマ回し大会のイメージが膨らみ、楽しくなるように観客を作ったり、遊びのルールを考えたりする姿がありました。

メダル作り

「1年生に喜んでもらいたい」「優勝した人にメダル渡したい」とメダルも作りました。



コマ作りで1年生に教えてもらったり、一緒に考えたりしたことで、自分たちも何かしてあげたい、喜んでもらいたい気持ちが芽生えました。

秋の架け橋活動2日目

コマ回し大会に使う新たなコマ作りをしました。そして、自分の一番お気に入りのコマを使って、コマ回し大会をしました。

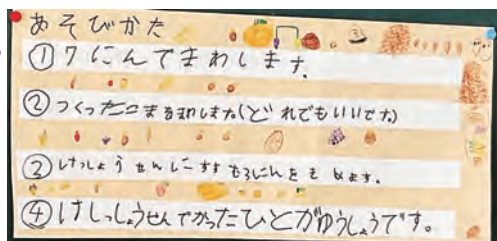
コマ回し大会！

1年生、5歳児がそれぞれに考えてきたルールを伝え合い、みんなで楽しむためにはどんなルールが必要か全員で考えました。



私は一番回るコマを作りたい

K君のコマよく回るから紙コップで作ってみよ



せーの！

コマ回し大会をしたことでコマの回り方にもいろいろなやり方があることに気づいていました。

「ふりかえり」

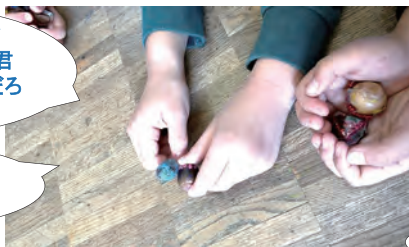
コマ回し大会後、“長く回るコマってどんなの？”“もっとよく回るコマにするにはどうしたらいい？”と自分のコマと友だちのコマを見比べながら考えを伝え合いました。

同じどんぐりでコマ作ったけどなんでS君のコマはよく回るんだろう？

つまようじを刺した場所が違う

S君のはとがった方が下でMちゃんのはとがった方が上や

どこを下にするかで回る時間や回転の違いに気づいていました。



とがった所が下の方が回ると思う

なんでとがった方がよく回るん？

バランスがよくなってグラグラせんから

5歳児担任

この前小さいどんぐりで作ったら回らんかった

大きくても細長いのは難しかった

工夫したところは？

1年生担任

軽すぎると回りにくかった

大きさと回り方は違った？

大きくて丸いどんぐりがよく回った(クヌギ)

グラグラしたらすぐ止まるからつまようじ(軸)をグルーガンでしっかり止めた方がよかった

つまようじの先を短くしたからよかった

コマ作りでは、軸の長さを微妙に調整することや、軸を本体にしっかり付けることが大切であることに気づきました。



毎年、秋にはどんぐりや松ぼっくりでコマを作り、試しながら遊んでいます。今回、1年生とコマ作りをしたことで、「なんで回る？」「なんで回らない？」をより深く考えることができました。いろいろな自然物を回してみたり飾り付けをしたりして思いつくことを試す5歳児は、1年生から考えやアドバイスをもらいました。そして、そのことで気づきが生まれました。こうしたらこうなるんちゃうという見通しがもて、自分なりに工夫してコマ作りをしました。また、共通の目的に向かって共に活動し、その楽しさを味わったことで、1年生に喜んでもらいたいという気持ちも芽生えました。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

思考力の芽生え

社会生活との関わり

自然との関わり
生命尊重

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

5歳児 つき組 「クリスマスリース作り」

製作遊びが好きな5歳児と、自分の考えや方法を言葉や行動で示そうとする1年生。初めての交流では夏ならではの色水の不思議さを楽しみ、秋にはさらに交流を深めるために散歩に出かけた。そこで一緒に拾った秋の自然物をリースにしようということで、みんなで持ち寄ったものでクリスマスリースを作ることになった。

スプーンですくって
ペットボトルのふたに
いれるよ。一緒に
やってみよう！

見ててね。
見本見せる
からね

どうやって
進めていくん
やろ...？



順番にやるのが
よさそう。

何色にしたい？
持っとくね



小学生と行くと
長い列になるなー！
すごっ！



こっちきてみて！
この前来た時に
チクチクの実を
みつけたんや。
このへんでな...



5歳児は、遊びや生活の中で季節ごとの事象の変化を楽しんでいる様子もある。夏は色水遊びをよくしていたことから、1年生と一緒にしたい・1年生に色の変化や知らないことを教えてほしいという思いで活動に参加した。

夏/色水をつくろう

幼稚園では作ってある色水を混ぜ合わせることを楽しんでいたが、今回の架け橋活動ではペットボトルのキャップに好きな色の絵の具を入れてシェイクして混ぜ合わせていく、コップに入れてさらに他の色水と混ぜるその変化を楽しんだ。

1年生が濃さや混ぜ合わせで色が変わることを知っていたので「何色のジュースにしてほしい？」とリードしてもらうことで1年生ってすごい！もっと自分たちでもやってみたい！という思いが強くなった。

言葉による伝え合い

知らないことをもっと教えてほしいし、逆に5歳児さんがそれを園に持ち帰って小さい組に教えてあげられるといいね、と話ができた。

また会いたい！秋だから一緒に散歩に出かけてもっといろんなことを教えてほしい！という気持ちから、1年生と秋見つけをすることに。

秋/散歩へ行こう

また会えたことに喜び、どこいく？何がある？綺麗な実あるかな？こっちにいいのあるよ！ など前は1年生にリードしてもらっていたのが、よく散歩でなじみのある公園だったので5歳児が知っていることを1年生に教えることができた。

拾った大切な自然物は製作に使いたいということで、クリスマスリースに変身させることに。廃材等色んなものを持ち寄り、小学校でリース作りに挑戦。

協同性

秋冬/クリスマスリース作り

どんぐりやまつぼっくり、秋の様々な実を廃材紙をねじって作ったリースの土台に飾り付けていくことに。夏・秋で同じペアだったチームはすっかり顔なじみになり協力してリースの飾り付けを楽しみだした。

5歳児さん、困ったことがあったら1年生に聞いてね

何でも聞いてよ！



毛糸や折り紙、様々な廃材を用意してもらっていたが、どう進めていこうか悩む5歳児に1年生が「ちょっと難しいの折ってあげよか？」「ここはリボンにしてつけると可愛いんやで」など声をかけていってくれ、5歳児からも「これどうやってつけていったらいいん？」「それめっちゃいいやん！同じの作ってみたい！」「積極的に話しかける姿も見られた。聞かずとも1年生が進めていく姿を見て真似る子もいたり、あまり使ったことのない廃材等を面白がり自ら進んでやり進めていく子もいたりした。

上手く形にしたいんやけど...

やってみよ！手伝うわ



これってのりでいくと思う？

どんぐりがのりでつかないからグルーガンでつけてみて？



はい、じゃあつけてみるよ。これならつくかな？



思考力の芽生え

言葉による伝え合い

架け橋活動後の姿

振り返りをすると、「いつも1年生が優しく嬉しかったし、あんな1年生になりたい！」「製作で1年生が、知らなかったやり方を教えてくれて、幼稚園でもやってみたいって思った！」など次につなげたい意欲がすごく見られた。普段の小さい組への接し方や遊び方にも1年生を参考にする変化があり、クリスマス会では、5歳児が4歳児・3歳児と一緒にクリスマスの衣装を製作した。お互いの思いや考えを伝え合いながら、協力したり、イメージを共有したりするなど、架け橋活動で知ったことを取り入れながら楽しむ姿が見られた。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

思考力の芽生え

社会生活との関わり

自然との関わり
生命尊重

数量や図形、
標識や文字
などへの関心・感覚

言葉による
伝え合い

豊かな
感性と表現

5歳児 さくら組 「 伝えるってたのしいな 」

小学生になることを5歳児クラスになってから意識していた子どもたち。小学校ってどんなところかな？1年生って何をするのかな？と想像が膨らんでいく中、1年生と一緒に遊ぶ日が来ました。

第1回：グループの友だちと仲良くなろう！

初回は、8人ほどのグループを作り、自己紹介・グループ名決めを行いました。しかし、お互いに恥ずかしく、話し合いが一向に進まずグループ名が決まりません。

保育者は、話始めるきっかけを作ろうと「どうして決めたらいいかな」と問いかけをし、子どもたちからの提案を待ちました。



なかなか決まらない中、1年生中心に提案してくれたことで、静かだった子どもたちの輪に少しずつ声が聞かれ始めました。

第2回：話し合いながら、物作りをしよう！

2回目は、小学校の教室で自然物や廃材を使ってグループで相談しながら物作りをすることになりました。前回から少し期間が空いたこともあり、最初に触れ合いをして仲良くなる時間を設けました。



1年生が毎朝している朝の会を体験。その中の歌でみんなで『さんぽ』の歌の振り付けを覚えてもらいながら歌いました。



廃材を使って、イメージしたものを自分なりに考えたり試したりし、製作をしていく姿が見られます。話す中で目的が明確化し、1年生や他の園の子と相談したり尋ねたりしながら作っています。1年生が、リードしてくれることでイメージが湧きやすく、そこに向かって相談しながら進めていくことができました。

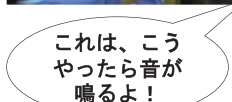
第3回：思いを伝え合ったりやり取りを楽しんだりしながら、遊びを楽しもう！

3回目は、前回作ったもので遊び、そのあと1年生が考えてくれたゲーム遊びを一緒に楽しみました。

1回目の時の緊張が嘘のように打ち解け、それぞれが楽しみながら参加していました。



楽器を作ったチームは、音楽が流れてくると1年生や他の園の子と、一緒に楽器を鳴らしたり踊ったりする姿もあり、お互いに自然体の姿で楽しんでいました。



ばくだん ゲーム

音楽が止まった時にボールを持っていた人は、チームのみんなに好きなものを言うゲーム。



初めの頃には、自分から話すことができなかった子どもたちが、自ら話したり相手の話に興味をもって聞こうとしたりする姿が見られました。

保育者の介入がなくても、自分たちで進行しゲームを進めていくこともできています。

園外に出て、他園の子どもたちや1年生と交流し、相手のことを知ろうとし、自分の思いを言葉で伝える大切さを学びました。したいことやイメージしたこと、自分の思いを伝えることで同じ目的に向かって作り上げていく楽しさを知りました。分からないときは、聞く。そして、一緒に考えたり、試行錯誤したりする姿が見られました。

園でも、以前より言葉で伝えようとする姿が増え、伝える楽しさや相手の話を聞く大切さを学んだように感じます。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

思考力の芽生え

社会生活との関わり

自然との関わり
生命尊重

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現



架け橋活動までの姿

6月に1回目の1年生との架け橋活動をし、初めての学校や教室、1年生とのやり取りなど緊張しながらも楽しむ姿が見られました。また1年生の優しい声かけにも心地よさを感じる子どもたちでした。7月には、1年生が「夏に楽しい遊びって何かな？」と意見を出し合い、色水遊びや水遊びなどが出た中で、こども園の友達と一緒にいろんな素材を選んだり、考えたり、工夫したりしながら楽しめるシャボン玉遊びをしたいと意見がまとまりました。5歳児は「何をして遊ぶのかな？」と期待を膨らますと同時に、また会えることを楽しみにしていました。

当日の姿

初めはペアの1年生と5歳児がお互いに恥ずかしそうにしており、普段よりも口数が少ないと感じましたが、遊びを通して徐々に和やかな雰囲気へと変化していきました。

《シャボン玉遊び》



走ったら
シャボン玉
いっぱいできるで!!

わかった!
走ってみる

ほんまや!!
いっぱい
できた



ほんまや
すごい!

うわあ!
走ったらんに
シャボン玉できた

なんで
勝手にシャボン玉
できたんやろ?

風が吹いたで
できたんちゃう?

うちわをこっち
向けてみたら?

ほら
できたやん!

こうするん?



この大きい難しい...
どうしたらできるん?

液いっぱいつけて
膜貼らなあかんで

これでいい?

そうそう
ゆっくり
動かしてみたら?

わあ~
大きいのできた!

〇〇君の
すごい大きい
どうやって作ったん?

一緒にしよ!

ほんまや
もっと風吹かんかな~

液いっぱいつけて
ゆっくり動かしたら
大きいのできるで!!



様々な素材を使っでのシャボン玉あそび。用具によってはいろいろな大きさや数など変化があり、そのことに気づいて楽しみました。また自然の力に気づき、共感しあったり、上手いかない時には1年生を頼りにする姿が見られ、一緒に不思議に思ったり、考えたりしながら架け橋活動を楽しみました。

幼児期の終わり までに育ってほ しい10の姿	健康な 心と体	自立心	協同性	道徳性・規範 意識の芽生え	思考力の 芽生え	社会生活 との 関わり	自然との 関わり 生命尊重	数量や図形、 標識や文字 などへの関 心・感覚	言葉に よる 伝え合い	豊かな 感性 と表現
------------------------------	------------	-----	-----	------------------	-------------	-------------------	---------------------	----------------------------------	-------------------	------------------



5歳児 すみれ組 「 作って遊ぶの面白い 」

1学期の遊びの中で、『ころがしあそび』が展開され、その遊びがきっかけとなり、作って遊ぶことへの興味関心が高まってきました。

上手く転がる方法を考えたり、お散歩に出かけて拾ってきた物や玩具など、いろいろな物を転がしてみたりしながら遊ぶ姿が見られました。

生き物や草花見つけをしたり、作って遊ぶことが好きであることが、1年生と5歳児で共通しました。

興味関心が共通すること、また、日頃の遊びを活動に繋げることが、一緒に楽しむことができることと考え、2学期は、秋みつけからの制作遊びを行うことにしました。



秋の草花や実を見つけよう

グループに分かれて、木の実や草花を探しに行きました。

採った物を見せ合いっこしているグループ、各々に楽しんでいるグループ、グループによって行動に違いはありましたが、秋みつけを楽しむ姿が見られました。

柿見つけた

柿の木があるの？

あそこ！！

ほんまや。
ほら、あそこにあるって

どこ？

あそこ。上の方

ほんまや。ある！！

あれは、とれん

それぞれのグループの状況に応じて、こども同士のやり取りに繋がるように介入するようにしました。



みてみて。いっぱいとった！！

わ～、すごい
いっぱいとれたね

次、あっちに行こう

うん

活動の終わりに、グループごとに見つけた物を発表しました。同じ物に共感したり、見つけた場所を聞いたりする姿が見られました。

「次は、今日見つけた物を使って、グループで考えた物を作ろう」と、次回の目的や期待に繋がるように伝えて振り返りを終わめました。

作ってみよう①

まずは、グループで『作る物』の相談をしました。

やってみたいことがたくさん発信されるグループ、1人の意見で話が進んでいくグループ、なかなかまとまらないグループなど、グループによって違いが見られました。また、全体的に、5歳児が1年生の話を聞いている様子が見られました。

どんぐりのコマ作る？

うん、つくりたい

いいね。どんぐりのコマを作ったらどうするの？

お店屋さんみたいに飾ったら

どうやって作る？

ダンボールでのせるとこ作る？

いいよ

コマを回すとも作りたい

うん



グループで1つの物を作るという目的に向けて相談できるように、グループの状況に応じて関わるようにしました。



グループ内で、それぞれが好きな物を作ったり、1年生だけで進め、傍観している5歳児の姿が見られたりしました。

活動後に、保育者と教師で振り返りを行い、目的の再確認をし、こどもたちがやり取りをしながら、考えたり、試行錯誤したりして取り組むために、共通した言葉がけや関わりができるように認識を深めました。



作ってみよう②・③

グループで作っている物に興味を持って、自分の思いや考えを発言したり、友だちの気づきに共感したりする姿が見られました。そして、自分の力でできることを考えて、作ったり、試したりする姿も見られました。

グループで楽しみながら作る姿が見られるようになりました。そこで、仕上げて終わりではなく、作った物で遊ぶことまでできればと考え、活動の回数を増やすことにしました。

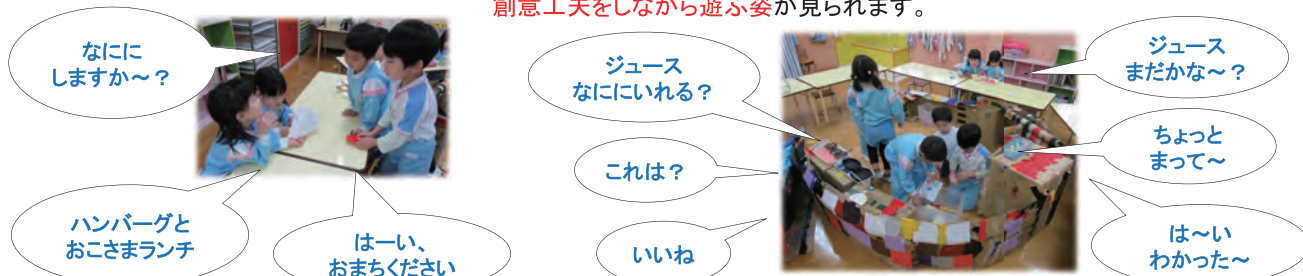


他のグループが作った物でも遊ぶことができました。自分から友だちに話しかけたり、やってみたいと思ったグループに行き遊んだり、積極的に行動する姿も見られました。「楽しかった。」「また遊びたい。」という声が聞かれました。



お店屋さんごっこ

その後、お化け屋敷として遊んでいた大きな家を『お店屋さん』に変化させ、部屋としていた部分を冷蔵庫にしたり、ゴミ箱としていた物を調理台にしたり、創意工夫をしながら遊ぶ姿が見られます。



お互いのアイデアを認め合い、具体的に相談しながら、お店屋さんに必要な物を作ったり、料理を作ったりする姿が見られます。また、お店屋さん役、お客さん役に分かれて、友だちとやり取りすることを楽しみながら遊ぶ姿も見られます。

幼児期の終わり までに育ってほ しい10の姿	健康な 心と体	自立 心	協 同 性	道徳性・規範 意識の芽生え	思考力の 芽生え	社会生活 との 関わり	自然との 関わり 生命尊重	数量や図形、 標識や文字 などへの関 心・感覚	言葉に よる 伝え合い	豊かな 感性 と表現
------------------------------	------------	---------	-------------	------------------	-------------	-------------------	---------------------	----------------------------------	-------------------	------------------



やまもも保育園

5歳児 らいおん組 「 つくって あそぼう！ 」

架け橋活動までの姿

自然物に興味、関心のある子が多く、園外へ出るといった木の実や落ち葉を集めてくる子ども達です。福知山の三段池公園や神崎の海で様々な種類のどんぐりなどを拾って、遊びの中にも自然物を取り入れて楽しむ姿が見られます。



当日の姿

二回目の活動ということもあり、緊張も少なく、自分の思った事を言葉にして1年生に伝える場面も多く見られました。



お互いに集めた、木の実や落ち葉など持ち寄って、小学校の体育館で、4～5人グループになり工作を楽しみました。

自然物の他に、紙コップ、紙皿、毛糸、ボンド、テープ、はさみなどを用意しました。



もしも聞こえますか？

すご～い

聞こえる～



どうやって毛糸つけるんやろ？

作り方1年生に聞いてみたら？

後ろに穴開けてテープでとめたらいいいやん！

はじめは5歳児、1年生とそれぞれが作りたい物を作っていましたが、1年生の作った『松ぼっくりけん玉』や『糸電話』を見ることで、“作ってみたい”と思った5歳児が1年生に作り方を聞く姿や1年生が5歳児に作り方を優しく教えてくれる姿が見られました。

けん玉を作るのが楽しかったです。

糸電話の糸をつけるところを工夫しました。



子どもたちの“やってみたい”という気持ちを見守り、どうすればイメージした物に近づくのか考えられるような関わりを大切にしてきました。また、1年生との関わりが自然と持てるよう仲立ちすることも意識して活動に取り組みました。

一回目の活動時は、振り返りを各グループで行っていたのでグループ内だけの共有でしたが、今回は全体で振り返りを行いました。全体で振り返りを行うことで、他のグループでは“どんな物を作ったのか”“どういう工夫があったのか”などを全体で共有できました。振り返りの中では、経験したことや考えたことを自分なりの言葉で伝えたり、相手の話を聞く姿も見られ、全体で共有することで新たな発見や気づきにつながりました。

松ぼっくりや木の実など身近な環境に主体的に関わる中で、自分なりに考えたり、試したり、工夫したりする姿が見られました。【自立心】また、友達の発見や考えに触れて、自分もやってみようとしてさらに興味をもったり、試してみたりする姿も見られました。【思考力の芽生え】

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

思考力の芽生え

社会生活との関わり

自然との関わり
生命尊重

数量や図形、
標識や文字
などへの関
心・感覚

言葉による
伝え合い

豊かな
感性
と表現

5歳児 さくら組 「 仲良く秋を楽しもう 」

散歩先で拾った落ち葉や木の实など、秋の自然を生かして1年生と一緒におもちゃ作りをしました。1年生と一緒に考えたり、試行錯誤したりして楽しめる活動にしたいと思い、『仲良く秋を楽しもう』をテーマにして取り組みました。自然物の他にもコップや毛糸、マジックなどを様々な素材や材料を用意し、数種類の玩具づくりができるようにしました。最初にどんな玩具が作れるのか、いくつか子どもたちに紹介することで作りたい意欲を高めます。

(実際に作ったおもちゃを見せながら) こんな風にできあがるよ。

葉っぱの絵作ってみたい！けどけん玉も面白そう。



自立心

思考力の芽生え

身近な環境に主体的に関わろうとする中で、自分で考えたり、友達の考えに触れて自分でもやってみようと興味を持ったりする姿が見られます。

おもちゃを作ろう

思い思いに自分の作りたいと思ったおもちゃの製作にとりかかります。隣で作っている友達の様子も気になり、わからない工程を尋ねたり、道具の使い方を教わったりして自然と1年生と関わり合うことにつながりました。

保育者は子どもたちが考えられるように問いかけたり、思いを整理して言葉にしたりして関わりました。

(友達に) その紙コップどこにあったん？

あとは何がいるかな？

すぐに取れる。どうしたら取れるのやろ？



Aくんはどうやってつけたん？セロテープでつけたらすぐにとれてしまうか。

ガムテープでくっつけたらよくつくで。取ってきてあげるわ！

作ったおもちゃで遊ぼう

ぜんぜんうまく入らん～

どうしたらうまく入るのかな？

こうしたら入るで。大きく振って遠くにやる感じ。



作ったおもちゃや作品で遊んだり見せ合ったりしますが、けん玉の松ぼっくりがうまく入らずに困っていました。入るまで何度も挑戦する5歳児のそばで、1年生が上手に遊んでいます。1年生の姿を羨ましそうに見ていたので、保育者が状況を伝えと、5歳児のところへ来て方法を伝授してくれました。自分の知らない方法に始めは半信半疑のような5歳児でしたが、試してみると見事に入りました！

言葉による伝え合い

経験したことや困っていることを自分なりの言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりする姿が見られます。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

思考力の芽生え

社会生活との関わり

自然との関わり
生命尊重

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

5歳児 さくら組 「キャンプへ行こう！」

倉梯第二小学校、ひばり幼稚園、森の子ら幼稚園の1校3園が集まり、今興味がある遊びを紹介していく中で、「夏祭り」「キャンプ遊び」という言葉ができました。イメージが膨らませやすく、子どもたちで相談して制作できる活動にしたいと考え「キャンプ遊び」で活動を行っていく事になりました。

6/12 1回目
話し合い

1回目の活動(鬼ごっこなど)の終わりに、キャンプ遊びの話し合いを行いました。7～8人のグループに分かれて「キャンプ行ったことある?」「どんな物作りたい?」と意見を出し合いました。園で行っていたキャンプ遊びの様子を壁に貼ると興味をもち始めた子どもたち。イメージが広がり会話も活発になりました。



バーベキュー
するの
おもしろそう



マシュマロ
やきたい

何つくる?

つくえ

たき火



さかな

ここに
書くね

テントやたき火以外のアイデアがたくさん出るように、魚釣りや机、イス、お店屋などキャンプ場にあったら楽しいなという発想を大事にしなが話し合いが進められるように保育者は見守っています。子どもたちは自分の意見を言葉で伝え合い、共感したり受け入れてもらっている姿が見られました。

1年生が、出た案を画用紙に書いてみる事に気付きました。自分のグループの色画用紙の裏を使って配置場所まで書いています。

2回目前日

家でもキャンプ遊びの話をしていた子どもたちが、「ジュース作りたい」「これでキャンプファイヤーできそう」と空き箱や牛乳パックなどを持って来ました。園と家庭で架け橋活動の内容を共有できるように掲示板などでお知らせをしています。

7/9 2回目
制作



手伝うね

ここ持って
おくから
貼ってみて

うん



テントを作る時、すぐ倒れる事や脚(筒)がグラグラするのはなぜ?と考えました。脚に「重たいののせて動かんようにする」「でも重たいのしないで」など1年生が中心になって考えています。牛乳パックや段ボールを脚の両側に貼ったり、新聞紙を入れて重たくしたりと色々試しながら進めていました。

子どもたちだけでは難しい時も保育者は「何が難しい?」「どうしたらいい?」「何でこうなるんだろうね?」「一緒にやってみる?」と問いかけ、保育者がすぐに考えを言うのではなく、子どもたちが気付いたり考えられるように少しヒントを伝えたりしながら関わっています。

完成・振り返り



《何を作ったのか》《工夫した所はどこか》《どんな事が難しかったのか》など自分なりの言葉で伝えてくれる姿が見られました。保育者や教師も気付いたステキな所を伝え合い共有していきました。

その後



持って帰ってきたテントの中で、「バーベキュー作った」と楽しかったキャンプ遊びの話で盛り上がりました。そして木の枝を組んでたき火を作り、綿で作ったマシュマロをかざして焼くなど架け橋活動の再現を楽しんでいました。

子どもたちがイメージをもち進んで活動したキャンプ遊びでした。異年齢の関わりの中で協力する姿や、気付いた事や考えた事を伝え合ったり、「私はテント作るで机とイス作れる?」など役割分担する姿も見られました。またやりたい事が難しく何度も失敗しながら諦めず考え試したり、「できないから手伝って」と保育者や教師に伝え目的の実現に向けて考えたり、工夫したりと充実感をもって活動することができた架け橋活動でした。その後の遊びの発展にも繋がり、テントの中にお花を飾ったり周りを装飾することでお家にと変化し、保育室の1コーナーとして子どもたちの安心する空間になりました。

幼児期の終わり
までに育ってほ
しい10の姿

健康な
心と体

自立
心

協
同
性

道徳性・規範
意識の芽生え

思考力の
芽生え

社会生活
との
関わり

自然との
関わり
生命尊重

数量や図形、
標識や文字
などへの関
心・感覚

言葉に
よる
伝え合い

豊かな
感性
と表現

5歳児 さくら組 「リースを作ろう」

10月末に前島公園で拾った素材や準備した廃材等を利用し、優しく教えたり、一緒に作ったりして楽しい活動にしようとリース作りをしました。

3回目の活動だったので、5歳児と1年生は名前を呼び合ったりして親しげな雰囲気が始まりました。

そうそう、そこ持ってねじるよ



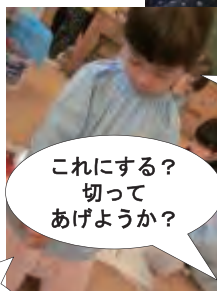
うん

ここ、持っていてあげようか



ねじるの難しいけどできる。
力を入れてぎゅっとしたらめっちゃ細くなったで

上手やな。すごいな！



これにする？
切ってあげようか？

自分で
するから！

Yちゃん、
はさみ上手だよ。
見ててあげてね

こうするの？



いいよ
押さえておくね

お姉ちゃん、
ここ持っておいて

保育者は、5歳児が教えてもらいたいところもあるけれど、自分でやりたいと思う気持ちの時もあるので、1年生に、分かってできるところは見守ってもらったり、聞いてもらうように言葉がけをしました。



リボンは短く
切って巻いたら
いいんやで

葉っぱつけない
グルーガンで
つけない

グルーガンや
なくても
のりで
くつつくよ

クリスマスの
しよかな？
お家にも飾ってあるし

サンタクロース
つけたら？



リース作りを通して

★握り方でぎゅっと握ったら細くなり、ほわっと握ったら飾りがつけやすいことを伝え合っていた。

★素材によってのりでつけられることを伝え合っていた。

★クリスマス風にしたい5歳児に「サンタクロースつけたら？」「リボンつけたらどう？」と提案する姿が見られた。

★リースにリボンを巻き付ける時に、長いままで巻いている5歳児に、「短く切って巻いたら巻きやすいよ」と1年生が伝えていた。など

何回かの活動で親しみが湧く中で、一緒に作りながら様々なことに気がついたり、提案したり、自分でやりたい気持ちや、知っていることや思いを伝え合う姿が見られました。

幼児期の終わり
までに育ってほ
しい10の姿

健康な
心と体

自立
心

協
同性

道徳性・規範
意識の芽生え

思考力の
芽生え

社会生活
との
関わり

自然との
関わり
生命尊重

数量や図形、
標識や文字
などへの関
心・感覚

言葉に
よる
伝え合い

豊かな
感性
と表現



5歳児 ぞう組 「シャボン玉であそぼう」

外遊びが大好きなこともあり、架け橋活動では、5歳児と1、2年生とがお互いに関わりながら遊べる内容を考えました。泡遊びやシャボン玉遊びなど、普段、試行錯誤しながら遊んでいる遊びを取り入れ、こども園の園庭で行う事にしました。



シャボン玉大きいの
作りたい

なかなか大きく
ならん…

どうやったら
シャボン玉が
大きくなるかな？



やってみるわ

ゆっくり後ろに行くと、
できるで



あれ？どうやるん？
液いっぱいつけてみる？

ロープを使い大きなシャボン玉を作るために、小学生のやり方をみて、後ろに進み、膨らませようとしています。真似するだけではうまくいかず、力加減を考え、何度も繰り返す姿がみられました。シャボン玉が膨らんだ時は、友達に伝え喜びを共感していました。



そーっと吹くと
大きくなった



手でもできる
かな？

試してみる？

膨らむかなー？

できた！すごっ！

どうすれば、シャボン玉が膨らむか考えて、吹く息の強さ、手の角度など試行錯誤する様子もみられました。他にも膨らます方法を友達同士で考え、気付けるような関わりをしていきました。

思考力の芽生え

小学生や友達のやっている事に興味をもち、自分なりに考えたり、どうすればよいか困った時は、友達に相談しながら、試行錯誤して試してみる姿がみられます。



一緒に遊んで気付いた事や感じた事を発表できる場を設けました。

架け橋活動第一回目の関わりでしたが、小学生の様子を真似て、5歳児も自信をもって発言していました。普段の遊びを小学生と一緒にする事で安心して参加する事ができ、思いを共有していました。次の活動では「学校に行ってみたい」「授業の様子をみてみたい」など、小学校に行く事を楽しみにして期待も膨らんでいます。

言葉による
伝え合い

自分の思いを伝える事で共感し、相手の思いに気付きながら、次はどのようにしたらよいか、どんな事がしたいか、考える機会となりました。

架け橋活動後の園での姿

ライブこっごの中で、歌を歌う子の順番がなかなか決まらずにいた際には、「次は〇〇って（プログラムを）決めたらいいんじゃない？」という友達の提案に、「それいいね～」と共感したり、「私は司会する」「じゃあ司会は何がいるのかな？」などと、自分の思いや考えたことを言葉で伝え合ったり、相談し合ったりしながら遊ぶ姿が増えてきました。

幼児期の終わり
までに育ってほ
しい10の姿

健康な
心と体

自立心

協同性

道徳性・規範
意識の芽生え

思考力の
芽生え

社会生活
との
関わり

自然との
関わり
生命尊重

数量や図形、
標識や文字
などへの関
心・感覚

言葉に
よる
伝え合い

豊かな
感性
と表現

5歳児 きりん組 「秋の制作」

作る事が好きな5歳児。季節が感じられる活動をしたいと考え、落ち葉やどんぐり、まつぼっくり等の季節物を使った制作活動をする事にしました。活動日までに5歳児と1年生がそれぞれ制作に使えるような素材を集め、持ち寄りました。

葉っぱを集めよう

園庭の落ち葉から形や色の綺麗なものを、気に入ったものを拾い集めました。それぞれが作りたいものや拾った葉っぱで作れそうなものを想像しながら集める姿が見られました。



黄色い葉っぱ
使いたい！

ハートみたい！

ドレスとか
作れそう！



素材を選ぼう



サンタ作りたいから
赤い葉っぱ使う！

何作ろうかな・・・

一緒に考えよ！
何が好き？

当日、持ち寄った素材から使いたいものや、作りたいものに合わせて必要な素材を選びました。何を作るか、すぐに決まる子もいれば「何作ろう...」と悩んでいる子もいます。悩んでいる子には1年生が声をかけ一緒に考えました。

ボンドはこうやって
使うんだよ。

制作しよう



まつぼっくり、
でこぼこで
うまくつつかん。
ボンド多く使お

どんぐりを目にしよ！

すごい！
そうやって使うんだ！
よく思いついたね。

貼る前に並べてみよ

かわいいドレス！
誰かに着せてあげたら？



ここに貼りたいけど
おっきいな・・・

好きな形に
ちぎってみる？

ちぎったら
いいんか！

ボール作りたいけど
どうやって作ったら
いいんやろう・・・

ちぎって、丸く
貼っていったら？

イメージが膨らみどんどん作っていく子、考えながらゆっくり作る子、イメージはあるもののどう作ればいいのかわからない子など様々でした。5歳児が困っていると1年生がアドバイスや案を出してくれ、それを参考に試行錯誤しながら作り進める姿が見られました。

色々な制作方法のヒントを伝えたり、イメージが広がるような言葉がけを意識して関わりました。

協同性

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

作っていくうちに、試行錯誤したり「どうしたらいいと思う？」「こうしてみたら？」「それかわいい！」「すごいやん！」と考えや感じた事を伝え合う姿も見られました。また、どんぐりを目に見立てたり、細い枝を髪の毛に見立てたりするなど、やってみた事を友達に共有したり、ボンドを少しずつめると、貼った時にはみ出ないということを友達に教えるなど、自分の経験を引き出しながら制作に取り組む様子も見られました。

幼児期の終わり
までに育ってほ
しい10の姿

健康な
心と体

自立心

協同性

道徳性・規範
意識の芽生え

思考力の
芽生え

社会生活
との
関わり

自然との
関わり
生命尊重

数量や図形、
標識や文字
などへの関
心・感覚

言葉に
よる
伝え合い

豊かな
感性
と表現



5歳児 ゆき・つき組 「スルスルビューン」

前回の架け橋活動では初めてのグループに分かれて活動を行いました。1年生が「スルスルビューン」の説明してくれたことで、「やってみたい！おもしろそう！」と興味や関心を持って活動できた子がたくさんいました。

次の架け橋活動では、グループで何か1つのものを作ってすべらせてみよう、ねらいを持って園に持ち帰りました。

(当日の姿)

「僕のグループは恐竜を作るんや！」等、前回の架け橋活動でグループで話し合ったことを覚えていて、1年生や、うみべのもりこども園の友達と活動するのを楽しみにしていました。

グループで1つのスルスルビューンを作ろう

前回、グループで話し合ったことをもとに、スルスルビューンを作っていきます。前回の時よりも緊張もほぐれ、主体的に関わっている姿が多くなりました。



協同性 言葉による伝え合い

グループで1つのものを作っていく中で、互いの思いを伝え合って共通の目的に向かって、考えたり工夫したりする姿が見られました。

スルスルビューンを滑らせてみよう！

毛糸等の色々な素材のひもを使って滑らせました。



自立心 思考力の芽生え

色々な素材のひもで試してみること
で「なぜうまくいかないのか？」
「もっとビューンと滑らせるにはどうしたらいいのか？」を1人1人が考えて、諦めずに活動する姿がありました。ひもの張り具合や、角度にも気づく子が出てきました。

(活動後の園での姿)

1年生やうみべのもりこども園の友達と活動できたことで、以前よりも友達の気持ちに共感したり、相手の立場に立って行動できるようになりました。友達との関わりも、ぐっと深まってきたように感じます。

幼児期の終わり
までに育ってほ
しい10の姿

健康な
心と体

自立
心

協
同
性

道徳性・規範
意識の芽生え

思考力の
芽生え

社会生活
との
関わり

自然との
関わり
生命尊重

数量や図形、
標識や文字
などへの関
心・感覚

言葉に
よる
伝え合い

豊かな
感性
と表現

5歳児 ひまわり組 「すごろくあそび」

遊びや生活の中で文字や数字に興味をもち過ごしている。1年生も学んだことを生かし、計算や文字を読むことに積極的であることから、一緒に楽しめる活動にしたいと考え、すごろくあそびを取り入れました。

活動前に・・・
マス作り

小学校では宿題があることを知らせ、「年長になってからできるようにになったことはなに？」という指令マス宿題を出し、休日に親子で考える時間を共有できるようにしました。休み明けに持ってきたことで、**宿題を達成できた**と実感していました。

コマ作り

手作りコマでは、ペアの1年生がどんな絵を描いたら喜んでくれるのかな？自分のアイデアを発揮し、**相手のことを思い想像しながら描く様子が見られました**。絵が苦手な子もいるため、ぬり絵を見て移したり、参考にしていよいよ言葉をかけました。

すごろくを作ろう！

グループに分かれて、大きな紙にマスを貼ります。

その中で、「どこに貼りたい？」「ここに貼ってほしい」など、架け橋活動も5回目ということから意見交換を楽しむチームや互いに安心して関わる姿が見られました。



どこがいい？！



なんて書いたん？



ここでもいい？
わかった！

そこでもいい！
ありがとう！

あやとびが上手になった

すごろくであそぼう！

5歳児は遊び方を知っている子もあり、1年生にリードしてもらいながら一緒に遊び始めていました。やりとりや表情から楽しんでいる様子も伝わり、互いの思いや考えなどを共有する姿が見られました。

1年生の言葉を聞いてあそびを楽しんでいる様子を見守りながら、共有したり関わるようにしました。

6がでた！



へんがお中！
みんなでへんがお
やって！



あはは！へんがお
おもしろ！



うわあ～1回休みや。
でも、こども園の
お友達と一緒にや！

いえーい、
1番に勝った！



一番大きい数字が
出たね！

みんなで10回
ジャンプやって！
せーの！



1回休みのところに
止まったね！



1年生と一緒に
すごろくができて、
たのしかったです。

3人でじゃんけん
やって！

1年生の姿や友達の姿
を見て、もっとやりた
いとあそびに興味をも
ち、さらに楽しむ姿が
見られました。

文字や数に親しみをもち、感じたことを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりしながらすごろくあそびを楽しみました。

架け橋活動を通して得たことが、これからの子どもたちの糧となり、学びにつながります。

振り返りでは、「1年生と一緒にすごろくができて楽しかった」「すごろくで1番に勝ててうれしかった」「すごろくを喜んでもらえてうれしかった」など、みんなで遊ぶことのおもしろさを1年生と共有できました。また交流が最後ということで、感謝を言葉で伝えるよい機会となりました。架け橋活動を機に遊び方を知った子からも「また続きがしたい」という声が上がっていました。

幼児期の終わり
までに育ってほ
しい10の姿

健康な
心と体

自立
心

協
同性

道徳性・規範
意識の芽生え

思考力の
芽生え

社会生活
との
関わり

自然との
関わり
生命尊重

数量や図形、
標識や文字
などへの関
心・感覚

言葉に
よる
伝え合い

豊かな
感性
と表現



5歳児 「秋のフェスティバルを楽しもう！」

5歳児と1年生が一回目の架け橋活動で仲良くなり、二回目の水遊びで色水のジュース作りを楽しんでいた様子から、三回目も何か自分たちで作ったり、考えたりして楽しめる活動にしたいと考えました。

秋ということもあり、秋のものを使い、小学校の広い体育館をお借りして秋のフェスティバルと一緒に楽しむことになりました。1年生がいろいろなコーナーを考えて準備をしてくれることを聞き、5歳児も「拾ってきたどんぐり持って行こ！」と、どんぐりや木の実を集めたり、もうすぐクリスマスシーズンということでリース作りの提案をしたりして準備を進めました。

始めに1年生から、どんぐり転がしや、どんぐりコマ作り、リースやお絵描きコーナーなどの説明を受け、活動時のペア（5歳児と1年生）になり、活動スタート！1年生から「どこから行きたい？」と優しく言葉ををかけてもらい、それぞれ思い思いにコーナーをまわる姿が見られました。

どんぐりコマ製作

ここから好きなの取って。
丸いほうがよくまわるかな。
爪楊枝も1本取ってな。

今回は様々なコーナーに参加できるよう1年生がどんぐりにあらかじめ穴を開けておいてくれました。



絵を描いて
かわいくしたい。



この穴どうやって
開けたんやろ？

どうやって開けたんかな？
1年生に聞いてみた？

もうちょっと持つとこ
短くして。

マジックあるよ！



子どもたち同士のやり取りを大切にしたいと思い、5歳児の質問はまず1年生へ尋ねるよう促し、見守りました。

わあ！！めっちゃまわる〜
どっちが長くまわるか競争しよ！

リース作り

画用紙何色にする？
星とか丸とか形はどれがいい？

木の実とかシール
貼りたいな。

赤い実あっちに
あったで取りに行こ！

私が持ってきたどんぐりや！
どうやってつける？

ボンドでつけたら
いいよ。

絵も描こう。



画用紙は形や色、大きさもさまざまなものを1年生が用意してくれました。木の実や葉っぱ、マジックやシールなどの材料の中から、5歳児は好きなものを選んだり1年生と相談したりしながら製作活動を楽しみ、完成すると満足した表情をしていました。

できた！！
持って帰りたいなあ。

自分で名前書ける？
書いてあげようか？



三回目の架け橋活動ということもありペアの1年生との距離も近づき、子どもたち同士で一緒に活動する楽しさや充実感を感じている姿から、協同性が育ってきていると思われます。

また、1年生にアドバイスをもらったりやり方を教えてもらったりしながら様々な遊びに興味関心を持ち、新しいことに気づいたり自分の思いや表現したいことを言葉で伝え合ったりして活動していた子どもたち。一緒によりよいものにしようとする姿が見られました。このような姿から、思考力の芽生えや言葉による伝え合いの力も育ってきていると感じました。

幼児期の終わり
までに育ってほ
しい10の姿

健康な
心と体

自立
心

協
同性

道徳性・規範
意識の芽生え

思考力の
芽生え

社会生活
との
関わり

自然との
関わり
生命尊重

数量や図形、
標識や文字
などへの関
心・感覚

言葉に
よる
伝え合い

豊かな
感性
と表現

5歳児 ふじ組 「 おっきいシャボン玉できるかな? 」

園庭でよく泡遊びをして遊んでいた5歳児。シャボン玉の歌や、絵本でシャボン玉を紹介するページを見て「やってみたいなあ!」という声も聞かれ、1年生との活動でみんなでシャボン玉作りをすることに!ただシャボン玉を作るだけではなく今回は『シャボン玉の大きさ』にポイントをおき、その中でグループで話し合い『自分の思いを自分なりに言葉にして伝える』という部分を大切にしたいと思い、活動を考えました。

【まずはシャボン玉液を作ろう!】



どれくらい
入れたらいいかな?

でも水が多いと
ビチャビチャに
なるかしらね!

それぐらいが
いいと思う!

もうちょっと
入れてみよ!



水たくさん
入れようや!

うんうん!
それぐらい!

これぐらいで
いいかな?



各グループで『食器洗剤・砂糖・グリセリン』の量を話し合いながらシャボン液を作ります。

材料の形状に合わせスポイドやスプーンを用意し、少量ずつ量が調整できるようにしたことで「こっち多くしたほうがよくない?」「もう少し入れよか」と互いに意見を伝えながら作っていました。初めての経験でしたが、量の加減は1年生が5歳児に伝え、1年生の話を聞いて5歳児が材料を入れる姿が見られたり、5歳児が作った液を見て1年生が「こっち違う液作ってみるわ!あとで比べよ!」と互いのシャボン液を比べてみようという提案して、一緒に試したりしながら遊ぶ姿も見られました。

【大きく作るために…】



ゆっくりしたら
でっかくなるんや!

え!そうなの?
発見だね!



2人で
ゆっくりふいたら
おっきくなると思う!



自立心

協同性

思考力の
芽生え

言葉による
伝え合い

遊びに必要なものに主体的に関わり、自分なりに考え、くり返し試してみようとする姿が見られます。友達との協力を得て、もっとこうしてみようと試行錯誤しながら遊んでいます。

「ストローでやってみよ!」「太い方が息いっぱい入りそうちゃう?」様々な材料を見て、自分なりに思いを伝えながらシャボン玉を大きく作るための棒や枠を作ってみる子どもたち。どうすればいいか悩む子には「お友達はどよう作ってるかな?」「1年生に聞いてみる?」と他児との関わりももてるような声かけや「この材料、どうにかしたら使えたりしないかな?」と作るきっかけになる声かけを行いました。実際に遊ぶ中でいろんな発見や気づきが生まれ、それらを伝え合うことで「じゃあ次はこうしてみよう!」と試行錯誤する姿にも繋がっていききました。子どもの発見や気づきに保育者が共感することで、自分の考えや思いを受け止めてもらえたという喜びや自信、もっとやってみようという意欲に繋がるようにしました。また1年生の発想に「そんなんでできるん?!」と驚き、どうやってするのかをじっくり見て「同じのやってみたい!」と好奇心に繋がったり、「こうしたらできるって教えてくれた!」と1年生が優しく教えてくれることに対して喜びを言葉で伝える姿がありました。



そっち持って!
一緒に大きいの
作れるかやってみよ!

凄いの
できそう!



そんな方法
よく思いついたね!

それでできかいの
できるん?!

ふり返りでは「ストローの先っぽを切ったらできた」など材料によってどうだったか、工夫したら上手くいったことなどを伝え合い、遊びを共有することができました。また1番大きく作れた方法を1年生がみんなに伝えてくれ「1年生すごい!よく知ってや」と5歳児は1年生に対して尊敬する気持ちも芽生えていました。そして次の架け橋活動に期待がもてるような声かけを行うことで次の活動内容を楽しみにする姿が見られました。



言葉による
伝え合い



こんな
でっかいのが
けいのわっかで
できたで!

気づきや考えたことを自分なりの言葉にして伝え、相手の話を聞いて共感したり、思いを伝えたりしています。

幼児期の終わり
までに育ってほ
しい10の姿

健康な
心と体

自立
心

協
同
性

道徳性・規範
意識の芽生え

思考力の
芽生え

社会生活
との
関わり

自然との
関わり
生命尊重

数量や図形、
標識や文字
などへの関
心・感覚

言葉に
よる
伝え合い

豊かな
感性
と表現



うみべのもりこども園

5歳児 やま組 「するするビューンで遊ぼう！」

今の子ども達の育ちや興味関心を1年生の担任と共有する中で、1年生が“するするビューン”という授業をしたことがきっかけになり、色々な物を作って滑らせる遊びに夢中になっていることを知りました。5歳児の子ども達も作って遊ぶことが好きなので、思いを伝え合ったり試行錯誤しながら楽しめる活動になるのではないかと考え、みんなで“するするビューン”を作って遊ぶことにしました。(※するするビューンとは、作ったものにクリップをつけてロープウェイのように紐を滑らせる遊びのことです。)

他園の友達や1年生の存在をより身近に感じて欲しいと思い、グループに分かれて活動を行うことにしました。

滑らせるものを作ろう！

1年生に“するするビューン”の遊びを紹介してもらった後に、「どんなのを作ろうかな?」「この素材を使ってみたい」とつぶやきながら思い思いに作り始めました。始めは、やま組同士で相談したり助け合ったりする姿が多く、なかなか他園の友達や1年生へと関わりが広がっていきませんでした。

Yはタコ作るで

海も作りたいな

ここ持っというて



何を作ったらいいかな?

Sも同じの作る!



いいよ

そこで他園の友達や1年生がしている作り方や工夫に気付いたり、知りたいことを聞いたりして関わりを広げられるきっかけになるように、言葉を掛けたり関わったりしました。

みんな見てみて! ○○ちゃんが作ったタコの口が面白いよ!

どうやって作ったん?

これを切って巻いたんやで

すごいな~



何で作ったらいいか分からん

それやったら、これとかいいんじゃない?

いいね~

そこにはペットボトルのふたや梱包材などいろいろな材料を準備しておいたのでそれらを使い工夫して作っていました。友達の遊びや気付きに触れて自分もやってみようとしてさらに興味関心をもったり、気付いたことや考えたことを伝え合ったりして互いに影響し合いながら関わる姿が見られました。【自立心】【言葉による伝え合い】

滑らせて遊ぼう!

ぴよんぴよんして滑っとる!

面白い! もう1回する!

やっぱりぴよんぴよんしとる

なんですか?



あれ?途中で止まった!

何で止まったんだろうね?

重かったのかな?



身近な環境に主体的に関わり、何度も繰り返し試す中で、どうしてそうなるのかと不思議に感じたり疑問を持ったりしていました。少しずつその原因や仕組みにも関心が出てきました。【思考力の芽生え】

お話タイムの中で「次はどうしたい？」と次回に向けての話を尋ねてみると、「楽しかった！もう1回したい！」「みんなで一緒に作りたい！」と子ども達からの声があがりました。次の活動では子ども同士の関わりが深まったり協同的な遊びの姿が増えて欲しいという思いから、グループの友達と一緒に1つの物を作ることを提案しました。子ども達同士で何を作るのかを相談する姿を見守り、必要に応じて言葉を掛けるようにしました。

次はどうする？相談しよう！

次遊ぶ時にグループの友達と一緒に何を作るかを相談してね

僕も飛行機！

ユニコーンが作りたい！

え～Yちゃんは魚がいいんや

みんな作りたい物があるし
それぞれ違うね。
どうしようかな？



飛行機がいい！

なんか…、車みたい
なんがいいな

車を飛ばしてみたいから

どうしょ…難しい

1つに決められなかったら、合体するのも1つの方法だと思うよ

あ！じゃあ、車にユニコーン
乗せるんにしよかな？

やっぱり、車にユニコーンの羽つけるんにしたら
いいんじゃない？そしたら車が飛べるようになる！

その車に魚のしっぽもつけたら、
みんなの思いが一緒になるかも～

それいいね！

普段から、お話タイム（振り返り）をする中で、自分がやりたいことに向かって友達と話し合い、必要なことを考えたり友達と折り合いをつけながら遊びを進める過程を大切にしてきました。その経験をもとに、他園の友達や1年生との遊びの中でも自信をもって自分の思いや考えを発言していました。【自立心】【言葉による伝え合い】話し合いを通して、友達の考えを聞いたり受け止めたりして新しい考えを生み出す姿も見られました。【思考力の芽生え】周りの大人を支えにそれぞれが折り合いをつけながら、自分も相手も満足できるように方法を模索し、1つの目的に向かって取り組もうとする力が育ってきています。【協同性】

グループの友達と一緒に作って・試して・遊ぼう！

こうしたら
いいんじゃない？

なんで？

止まった！

羽をヒラヒラ
させたい



チョウチョが
ひっくり返ると！

クリップが端っこについとるからひっくり返ったんや。
真ん中がいい！直そう！

バランスが大事なんやな

羽に重りをつけたら
ヒラヒラせんかな？

もう1回
試してみよ！



身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みに気付いたり、考えたり、予想したり、工夫したりする姿がありました。また、友達の様々な考えに触れる中で、自ら判断したり考え直したり、新しいアイデアを生み出したりして、思考を深めていました。【思考力の芽生え】対話を通して友達と目的を共有し、思いをやりとりしながら実現に向けて協力しようとする姿がありました。【協同性】

園に帰ってからのお話タイムでは、気付いたことや工夫したこと、他園の友達や1年生にしてもらって嬉しかったことを伝え合う姿がありました。年齢や経験が違う子ども達が集まることで、多様な視点や新しいアイデアに出会うきっかけにもなりました。園では今でも“するするビューン”を楽しんでいます！

幼児期の終わり
までに育ってほ
しい10の姿

健康な
心と体

自立
心

協
同
性

道徳性・規範
意識の芽生え

思考力の
芽生え

社会生活
との
関わり

自然との
関わり
生命尊重

数量や図形、
標識や文字
などへの関
心・感覚

言葉に
よる
伝え合い

豊かな
感性
と表現



5歳児 なでしこ組 「秋みつけってなに？」

秋が近づいてくると「どんぐり拾いに行きたい」「虫探しに公園に行きたい」と話すようになっていた5歳児。そこで、1年生の「秋みつけ」をともに楽しむことで互いの気づきや学びにつながるのではと思い、舞鶴公園を一緒に探索することにしました。

1年生は「あきみつけ」をするんやって

「あきみつけ」ってなんやる？



当日までに話していると「秋みつけ」や「秋」って何だろう？という疑問が生まれました。「葉っぱが落ちたら秋ってお母さんが言ってた」「秋は10月で、12月からは冬で」たくさんの意見が出ています。絵本を見たり、これまでの経験を思い出したりしながら、**それぞれが自分の考えを言葉で伝え合って予想しています。**

葉っぱとかも

どんぐり
見つけること！

虫も？

実みつけるとか



当日、待ち合わせの舞鶴公園までの道のりもゆっくり歩いたり、「あ、これは何だろう？」「どんな匂いがするかな？」と意識的に声を掛けたりして、木の実や草花を見つけながら向かいます。

「〇〇ちゃんおるかな」「一緒に探そうかな」と1年生と活動することを楽しみにする様子もあったため、**ペアなどは事前に決めずに秋みつけを開始しました。**



松ぼっくりは、
水につけたら閉じて、
乾かしたら開くんやで



そうなん！じゃあ、
探しに行こ！

舞鶴公園では、しゃがんだりのぞき込んだりしながら、じっくり観察していたり、図鑑を片手に探索する様子もあります。図鑑を見ながら、自分の知っていることを伝える様子もありました。1年生に松ぼっくりの秘密を教えてもらったことがとても嬉しかったようで、園へ帰ってから保育者や友達に自分の言葉で教えてくれる姿もありました。



池につけとく
実験やで

それぞれが見つけたものをグループで紹介します。グループは保育者が分けるのではなく、人数だけ伝えて、こどもたち同士で声を掛け合う姿を見守りました。「一緒にしよ」「あと一人や」と言いながらグループになっていきます。自分たちで必要性を感じて声を掛けたり、どうすればよいか自分なりに考えてグループになる友達を探しに行っていました。



「見せあいっこ」の場面でも、進め方は提示せず、見つけたものを出す箱と、図鑑を各グループに渡してみました。順番に話したり、お気に入りのものを一つ紹介したり、それぞれが考えた方法で進めています。自分が見つけたものを見せたり、どこで拾ったのか伝えたり、友達が見つけたものを興味深く見ている様子もあり、自分なりに伝えようとしています。また、図鑑を見ながら、自分が拾ったものと見比べたり、友達が見つけたものについて自分の知っていることや感じたことを伝える様子もありました。

翌日も「昨日の公園に行きたい！」という5歳児です。「図鑑を持って行きたい」という声もこどもたちから出ました。行く前にも図鑑で「これもあるかな？」と予想しています。



1年生との活動を通して、図鑑にあるものを探したり、図鑑の写真と見比べたりしながらじっくりと自然とかかわる楽しさを実感した様子です。図鑑で見た緑色の松ぼっくりを実際に見て驚く姿もありました。また、拾ってきた自然物でアクセサリーや虫を作ったり、園庭でも探したりと、様々な自然とのかかわりを深めていきました。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	思考力の芽生え	社会生活との関わり	自然との関わり 生命尊重	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
----------------------	--------	-----	-----	--------------	---------	-----------	-----------------	----------------------	-----------	----------